

あ い さ つ 第27代校長 東 盛 敬



「令和」丸一年となり、日本のみならず世界が激動する情勢となっておりますが、太平洋上にはいつものように太陽が昇り、全日制普通科と定時制商業科を備えて特色ある充実の教育活動が展開される「緑の丘辺」には天からの恵みがふり注ぎます。そして学舎には新しい時代に挑み、拓く若人が集います。

本校教育目標「公共に志を高くして夢を描き、その実現のため自ら意欲をもって学ぶ知・徳・体の調和のとれた人間育成」は校訓「自由・平和・叡智」に支えられ、「文武躍動」たる高校生活充実のさらなる先の「道」に続きます。激動の幕末の日本が世界と対等に渡りあうために力を尽くした勝海舟はこういいます。『人はみな、さまざまに長ずるところ、信ずるところを行えばよいのさ。社会は大きいからあらゆるものを包容して毫も不都合はない。生業に貴賤はないけど、生き方に貴賤があるねえ』と。

「令和」への転換は、世界のパラダイムシフトと重なる歴史の「偶然」でしょうか。様々なグローバル化の歪みが出表する厳しい局面下、「健全なる精神と肉体」をもって飛び交う情報の中から更なる真実を「見極める力」が大切となります。この「力」を内なる財産とすべく、コザ定生は思い切り勉学に励み、部活動に熱中しております。

結びに、定時制商業科教育課程において、生徒1人ひとりと本校教職員が覚悟をもって正面から向き合い、愛情一杯にて支えます。コザ定には「将来」を見つめ、なかならず夢を叶える「今」を実感し、激動する社会に目をこらすして「夢」実現に向けた1つ1つの挑戦を大切にする若人が集います。この挑戦が本校の実りとなり、コザ定発展の大きな礎となっております。

令和2年4月7日